

2008年10月1日
23号

かけはし

水戸総合病院広報誌

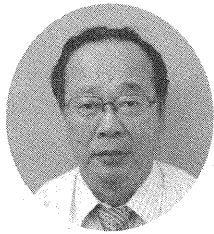
発行所 (株)日立製作所水戸総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029 (272) 5111
発行人 仲村 稔
編集 広報委員会
URL: <http://www.hitachi.co.jp/hospital/mito/>

【水戸総合病院理念】

説明責任を基本とした最新の技術と最良のサービスの提供により患者さまの満足される医療を遂行する

【水戸総合病院基本方針】

「地域の皆様の信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期医療に重点を置いた地域完結型医療の実施、②最新の医療技術の確立、③説明責任を実施することによる最良のサービスの遂行を実践する



院長挨拶

院長 永井庸次

残暑厳しいこの頃ですが、皆様方にはお元気でお過ごしでしょうか。

昨年9月6日に「水戸病院の新病院建屋建築」の計画目論見を認可されてから、早1年が過ぎました。この間、基本設計を終了し確認申請中です。現在、建築、設備（電気、空調、給排水等）、医療機器の選定を含め実施設計中ですが、災害拠点病院など許認可の必要なものは、県、市と折衝中です。皆様方もご存知のように、この間の建材、ガソリン等の値上がりは想定外のものでありますが、予算内施工に全力を上げ、本年12月着工に向け、職員一同努力してまいります。新病院は12月着工、2010年4月に竣工オープンとなり、ベッド数は現在の215床から288床となり、地上6階の免震の建屋となります。職員一同、新築は「業務革新の最大の契機」と考え、「地域の医療を護る」の方針のもと、アメニティの向上、待ち時間の短縮、プライバシーへの配慮などに対して全力を挙げて取り組んでおりますので、ご支援、ご鞭撻いただければ幸いです。

県は新医療計画として、4月に今後5年間の茨城県の医療計画を公表しました。4疾病5事業という「虚血性心疾患」、「脳卒中」、「糖尿病」、「がん」、「災害」、「救急」、「産科」、「小児」、「へき地」が目玉ですが、当院の位置付けも若干明確になりました。当院は心筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患では「急性期のカテーテル治

療から療養期の心臓リハビリ」が、脳卒中では「療養期のリハビリ」が県の計画の中に組み込まれており、リハビリに関しては新病院の回復期リハビリ病棟オープンでさらに充実が可能です。小児領域では地域小児科センターという役割を頂きました。糖尿病に関する計画について県は公表しておりませんが、当院は専門医を含め透析治療も可能ですので問題ありません。また、新病院では外来化学療法の実施や放射線治療施設の新設でがん診療連携拠点病院の申請が可能となり、がん治療を飛躍的に充実できます。新病院では免震構造が取り入れられますので、災害拠点病院の申請の他、集中治療室等の充実から救急医療も充実できます。課題は産婦人科の復活です。皆様方もご存知のように、日立総合病院の産婦人科存続が深刻な問題となっております。県北の産科崩壊はひいてはドミノ倒しのようにこの地域にも波及しかねません。市内には分娩件数の多い産科病院が複数ございますので問題はありますが、当院も産婦人科の復活に全力を挙げたいと考えております。

なお、小児救急に関しては、市報でもご承知のように10月から日祭日の昼間帯のみ、ひたちなか市医師会の全面的なご協力の下に、従来のヘルスケアセンターではなく、当院の小児科外来で行われることになりました。少ない小児科医での地域の小児医療の確保には、なるべく並列で行われている救急は一元化の方が良いと判断した結果です。この間色々ご尽力いただきましたひたちなか市医師会、ひたちなか市の関係各位に深謝申し上げます。当分は色々ご迷惑をおかけすると思いますが、順次運用面を改善していきますので、よろしくご協力の程、お願いいたします。

病院リニューアル工事に伴う患者様用駐車場移転のお知らせ

病院リニューアル工事に伴い、現在ご利用頂いている病院北側駐車場が変更となります。

ご不便をお掛けし誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

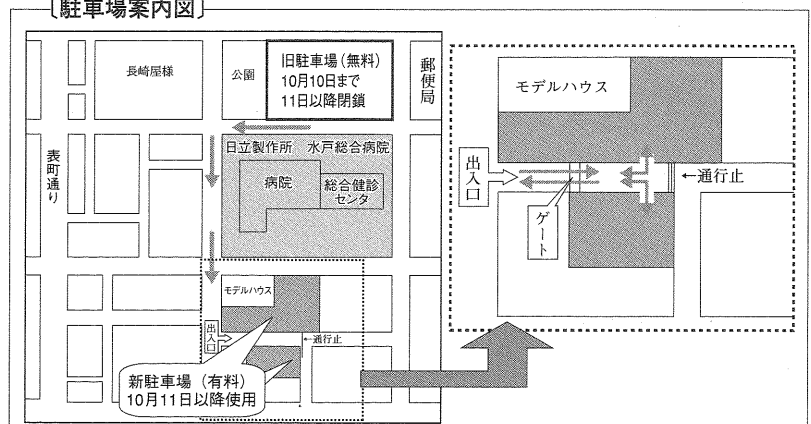
【変更日時】

2008年10月11日（土）より

※10月10日（金）までは従来通りご利用下さい。

(株)日立製作所 水戸総合病院

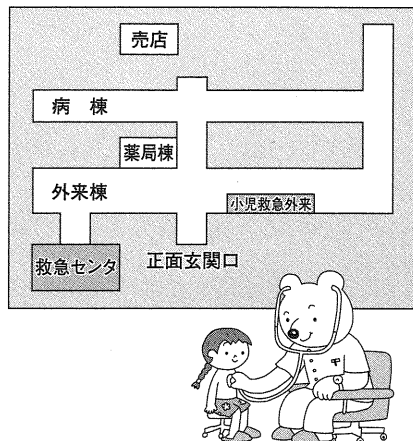
〔駐車場案内図〕



日祭日の小児科診療が変わります

10月から日曜・祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の昼間の時間帯における小児科診療が変わります。

診療日	日曜・祝日 及び年末年始 (12月31日～ 1月3日)の昼間	土曜・日曜・祝日 及び年末年始 (12月31日～ 1月3日)の夜間	平日(月～金曜)の 夜間
受付時間	午前9時～ 午前11時30分 午後1時～ 午後3時30分	午後7時～ 午後9時30分	午後7時～ 午後9時30分
場所	日製水戸総合病院 (小児救急外来)	休日夜間診療所	日製水戸総合病院 (救急センター)
連絡先	276-7005	274-3240	272-5111



院内ボランティア活動

ボランティア委員会 木立 静津子

当院では、2001年8月より「心あたたまる癒しの病院」を目指し、職員OBを中心に院内でボランティア活動を開始致しました。これまでに外来の案内やミニコンサート開催などを行ってきました。現在の主な活動内容は、各病棟で移動図書ワゴンサービスを行っており、入院患者様からも好評を頂いております。今後、新たにボランティアスタッフの募集を行いたいと考えております。もしご興味のある方がいらっしゃいましたら、ご一報頂ければと思います。



採用・退職医師の紹介

担当科	氏名	異動日
内科	佐藤 陽子	退職(2008.9/30)
	木下 賢輔	退職(2008.9/30)
	五十嵐 淳	採用(2008.10/1)
	山本 昌良	採用(2008.10/1)
外科	稲垣 勇紀	退職(2008.9/30)
	福澤 淳也	退職(2008.9/30)
	中山 健	採用(2008.10/1)
	池田 治	採用(2008.10/1)
整形外科	青戸 克哉	退職(2008.9/30)
	辻井 績武	採用(2008.10/1)
小児科	森山 伸子	採用(2008.7/1)
研修医	中嶋 智美	採用(2008.10/1)
	井汲 彰	採用(2008.10/1)
	田中 亮多	採用(2008.10/1)



健康管理は体重管理

保健師 山崎 真由美

体重計は「一家に一台」あると思いますが、皆さんはどのくらい体重計に乗っていますか？体重測定は、一番身近ですぐに始められる健康管理です。毎日体重計に乗って、記録をすること、これだけでご自身の健康と生活習慣を見直す良い機会になります。

体重計は、100g単位まで計測できるものをお勧めします。体重は1日2回、朝の食事前でトイレを済ませた最も軽い体重、そして、夕食後の最も重い体重を計測しましょう。体重にも日中変動がありますが、大事なのは翌日の朝の体重が、前日の朝の体重より増えていないことを確認することです。朝の体重が増えてきたと言うことは、太りはじめのサインです。この体重を折れ線グラフで記録すると、体重の増減が良く分かります。また、体重を減らしたい方は、体重を減らすために自分がかんがる目標を立てて、体重記録票に記入し、毎日○×で評価しましょう。体重記録票には、自宅血圧や体調のメモ等を記入しても良いと思います。早速、明日の朝体重計に乗ってみてください。

水戸総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

2008年

2009年

2008年							2009年																																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																											
			1	2	3	④							①																											
10	⑤	6	7	8	9	10	11	②	③	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
11	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺

■は水戸総合病院休日 ○は総合健診センター休日